

## 平成23年雲南市議会 9月定例会一般質問通告一覧表

平成23年9月2日

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	20	深田徳夫 (一問一答)	1. 国民健康保険料の改定について  2. 児童虐待について	<p>(1)国民健康保険料の改定について</p> <p>①本算定によって国民健康保険料の料率が医療分8.11%、後期高齢者支援分1.99%、介護納付金分1.65%、それぞれ上昇した。市民の皆さんのがんの保険料負担はもう悲鳴に近い。この現実をどう受け止めているか。</p> <p>②市民の健康を守ることは行政の責任でもある。医療費は増え続け、これによって保険料も高騰し続ける。今後、対策をどう考えるか。</p> <p>③保険料負担の元凶は、もともと50%の国庫負担を現在は24%まで引き下げた国に大きな責任がある。国に対し負担率の回復の働きかけは如何に。</p> <p>④医療と保険の融合施策などは、医療費軽減の新たな健康づくりの施策として先進的な取り組みと思う。このようなアイデアを含む健康増進対策事業などに対し、補助金等を認めさせる要請活動を行うべきではないか。</p> <p>(1)児童虐待について</p> <p>①平成22年度の全国の児童相談所が相談を受け対応した件数は、過去最多を大幅に更新したと発表されたが、島根県、雲南市の22年度実態はどのような状況か。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 行政改革について	<p>②厚生労働省の発表では相談に関わっているにも関わらず、対応遅れなどの実態が多くあったということであるが、子どもを守るという結果につながらないと意味がない。雲南市の状況にはこのような実態はなかったのか。</p> <p>③虐待を未然に防ぐ取り組みは、地域ぐるみの子育て支援など非常に有効な手段だと思う。施設の不十分な加茂の実態は目を覆う。これでは親の交流も程遠く、虐待を未然に防ぐ施設ではない。早急に大規模修繕等が必要と思うが、如何に考えているか。</p> <p>以前、季節保育所として三代児童館があったが、この度さくら教室に変わった。しかし、地元では大切な子育てとして地域の方が放課後児童を現在でも受入れて下さっている。このような、大切な活動を雲南市としてはどのような評価をされ、今後の支援をどう考えているか伺う。</p> <p>④昨年、学校における虐待の把握方法について伺った。答弁では地域社会の教育力に力を注ぎたいとのことであったが、どのように対応してきたのか、その成果について伺う。</p> <p>⑤教育委員会は、大きな視点で虐待ゼロを目指した集中的体制、或いは指導拠点など設置が必要ではないか。このような対策を検討してはどうか。</p> <p>⑥昨年の住民生活に光をそそぐ交付金の使途を伺う。</p> <p>(1)行政改革について</p> <p>①市長のリーダー像について伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4. 橋門管理について	<p>②市長は合併後、財政的には苦しい時期を 24 年度の収支均衡まで努力された。市民の一体感は努力と反比例している。一体感の醸成はどこまで進んだと思われているのか。</p> <p>③行政改革は何時の時代も必要だ。しかし、行政不信とは行革に始まる。今回の総合センターの縮小は拙速ではないか。そのことが、これまで培った各町の事業が行革として切り捨てられる。市民の声は行政に届いているか伺う。</p> <p>④加茂町教育振興会資金の貸付事業が廃止とされた。私は納得できず資料請求をした。決裁文書は 20 人の職員が目を通して決裁をしている。そこには誰一人疑問の一筆も入れていない。これは行革縮小というのみで、市民の目線がない。これを事業の切捨てと言わぬか伺う。</p> <p>⑤利用者や市民の声は存続を望む声が多い。地域限定では不可能なら、定住対策・人材育成の面から雲南市において制度を設ける考えはないか改めて伺う。</p> <p>(1)橋門管理について</p> <p>①県管理・市管理橋門は雲南市内に何箇所あるか。</p> <p>②橋門管理等はどの程度設置されているか。</p> <p>③出水時の橋門の管理は、河川の水位と内水を見極めつつ管理するのは大変な重労働で、長時間に亘る管理もある。県とも協議の上、管理棟を早急に設置すべきではないか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			5. 竹林の対策について	<p>(1)竹林の対策について</p> <p>①雲南市ではバイオマスの実証実験が本年度行われている。この実証実験に竹林も入るのか。また、竹林が造林地に入り込むと育林が台無しであるが、対策はあるのか。また、森林組合と協議をしているのか。</p> <p>②竹林の駆除に補助制度を提案したい。森林組合と協議し、補助制度などの創設を検討してはどうか。</p>	
2	11	藤原信宏 (一問一答)	<p>1. 住宅用火災警報器の普及促進について</p> <p>2. 自殺防止と心の健康対策について</p>	<p>(1)火災警報器の普及促進努力について</p> <p>①警報器の設置が6月1日より完全義務化された。管内の設置済みは7割程度だが、消防法で義務付けられている以上、市は100%設置を目指して普及促進を図るべきだ。所見を伺う。</p> <p>(2)設置助成制度の創設の考え方</p> <p>①設置できない世帯にこそ急がれる。一定の高齢者や障がい者、低所得者の安心安全のために、設置助成の充実を図る考えはないか。</p> <p>②平成18年度以降、市は「老人日常生活用具給付事業」の適用を凍結しており、時代の要請への逆行である。早急に復活させる、或いは、より制限のない給付事業を設置して高齢者世帯への完全設置を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)市における自殺防止対策の取り組み</p> <p>①自殺防止対策について、雲南市における取り組みと、うつ病を含めた「心の健康の啓発及び相談事業」の実施内容を伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>3. 三刀屋町下熊谷の地域計画について</p> <p>4. 保育所行政の行く末について</p>	<p>(2)心の健康対策について</p> <p>①うつ病の早期発見・治療についての正しい知識の普及啓発や、関係機関との情報連携を市立病院は如何に行っているか。</p> <p>②うつ病患者の職場復帰支援に関して、各事業所のメンタルヘルスケアの把握と推進について、市からの働きかけはどの程度行っているか。</p> <p>③児童・生徒が心の悩みを打ち明ける相談窓口は、どの程度用意されているか。スクールカウンセラーの配置等の現状、体制を伺う。</p> <p>(1)森ノ本新田地区の地区計画（道路計画）の取り組み</p> <p>①平成21年3月議会において「秩序ある開発を誘導るべき」として要請した本地域の地区計画（道路計画）の取り組み状況を伺う。</p> <p>②国道から下熊谷3号線を経由して三刀屋川堤防につながる一本の幹線道路については、次期実施計画に計上すべきものと考えるがどうか。</p> <p>(2)増加する賃貸住宅入居世帯への「自治会結成や地域活動への取り込み等」の働きかけ</p> <p>①以前に指摘した賃貸住宅世帯に対しての「自治会結成や地域活動への取り込み、家主を通じた負担金支弁等」の働きかけについての対応状況を伺う。</p> <p>(1)「子ども・子育て新システム」について</p> <p>①「子ども・子育て新システム」の中間報告が示されたが、制度を抜本的に変える内容である。政府が目指す総合施設と称する幼保一体化施設（建物）のイメージを示されたい。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>②新システムの導入には、様々な問題点が指摘されている。制度上の問題点をどの様に把握・認識しているか。</p> <p>(2)市立保育所の業務委託計画の推進について</p> <p>①市立保育所の業務委託計画の推進は、なぜ頓挫しているか、理由を問う。</p> <p>②幼保一体化の流れの中で、雲南市の保育所行政はこれからどの様な方向に向かうのか。市の確たる方針を示されたい。</p>	
3	2	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 市民が望む市政に向けて	<p>(1)総合センターのあり方について</p> <p>①一部修正が示されたが、根本的に市民が望み、期待する総合センターのあり方、役割を見誤っているのではないか。</p> <p>②本庁集約（中央集権的）ではなく、きめ細やかな行政サービスを行う「現地解決型」は堅持すべきではないか。</p> <p>③総合センターの人員体制（144人→40人+α）と、移行時期についても根本的に見直すべきではないか。</p> <p>(2)本庁舎建設について</p> <p>①市政懇談会では「必要性」について、将来の市民負担の観点からの説明が不足していたのではないか。（建てない場合＝将来へ先送り、現庁舎の増改築など）</p> <p>②合庁の一部借り受け（建設部配置）、電算室の別棟は効率性、無駄をなくす点からも見直すべきだ。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 持続可能な定常型社会を目指して	<p>③3.11 以降において、例えば民間企業が「あの場所」へ本社建屋を建てるだろうか。(社長だと仮定した場合、どう判断するか)</p> <p>④「あの場所」へ建てる場合、クリアしなければならない条件とそれに伴う費用がかかりすぎるのではないか(事業費積算が甘い)</p> <p>⑤万が一浸水したりして、防災拠点として機能しないようなことが起これば、誰が責任をとるのか。(請川は 1/10、案内川は 1/3 の確率)</p> <p>(1)財産(公の施設、市有地)の見直し状況について</p> <p>①見直しの実施がなぜ進んでいないのか。</p> <p>②今後、具体的にどう取り組んでいくのか。</p> <p>③廃止や払い下げなど、処分方針ができているか。(対象の特定、件数を含めて)</p> <p>(2)市が管理する道路、河川等の維持管理について</p> <p>①市が管理する道路、河川等の維持管理、補修に係る予算、体制が不十分ではないか。</p> <p>②特に災害に直結する河川内の堆積土除去、立木伐採、除草はどう対応しているか。</p> <p>(3)市立病院の経営健全化について</p> <p>①22年度決算から見た、経営上の問題点は何で、それにどう対処するのか。(医師・看護師の確保、病院建替えは除く)</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				②市の行財政改革に沿った次期ステップアッププランの策定はどうするのか。	
4	7	安 井 誉 (一問一答)	1. 政治姿勢について 2. 学校施設整備について	<p>(1)一般質問の取り扱いについて</p> <p>①一般質問を終えた後、執行者として質問に対する答弁をどのように整理・集約されているか。「出来るもの」・「出来ないもの」・「現に実行しているもの」・「将来に渡り市政に反映が考えられるもの」等、区別されたものをどう対処しようと考えているか伺う。</p> <p>市長、副市長は部局より報告を受けているのか、各部局にお任せなのか伺う。</p> <p>府内協議により一層の方向付けを望むがどう考えているか重ねて伺う。</p> <p>(1) 市内学校施設の検認について</p> <p>①市内学校施設の管理、修繕、補修箇所等の調査確認がなされているか。その結果を伺う。</p> <p>当面の問題点や、それに係る経費はどの程度か伺う。</p> <p>それに対する対応は考えているのか伺う。</p> <p>②改築された三刀屋中学校について、4月より使用されているがその後の検証状況を伺う。</p> <p>③6月・7月は室内温度が上昇し、外気より2~3度高く、授業中も厳しい環境と聞いたがその対応はどうされるのか伺う。</p> <p>④新設された三刀屋中学校は外部の方からは分散型配置と言われる。立て札・案内看板等で対応を図り住民が迷わない方法を考えられた</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>いがいかがか。</p> <p>⑤三刀屋中学校の場所決定時、周辺住民より視界の問題、学校の騒音、プラスバンドの練習場所のこと等、意見・難題があつたが、その中で理解を得て改築された。今後、学校の周辺管理に協力を得なければならないが、地元住民とのコンセンサスを得る必要がある。そのための懇談の場を設けられたかどうか伺う。</p> <p>(2)校庭の芝生化について</p> <p>①校庭の芝生化について、トラックを除く外側の芝生化計画を聞いていたがいよいよ整備の時期が来た。その後どの様に計画されているかを伺う。</p> <p>新たな校庭は変形した校庭となるが、中学校の校庭としての機能は大丈夫か。今後に問題は無いか伺う。</p> <p>市内各学校校庭の芝生化計画はどの様に進められているのか伺う。</p> <p>(3)ナイター設備について</p> <p>①改築のため、ナイターが撤去された。その再設置について検討するとの答えをいただいているが、検討された結果と、いつ、どの様な方法で再設置されるかを伺う。</p> <p>②場当たり答弁である様に思うが、言われたことに対しては後のフォローが必要と思うがどう考えるか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 大型プロジェクト事業について	<p>(1)本庁舎建設について</p> <p>①現在提案されている予定地は庁舎建設予定地としては不適地である。三刀屋川・斐伊川・請川の合流地点であり、土質も悪く、低地である。その対策として河川の改修、ポンプの導入等が挙げられている。これらは国・県相手の要望事項である。見通しを伺う。</p> <p>②工業用水を送水しているが、どう対処するのか伺う。</p> <p>③液状化の恐れがあり、その対応も聞かされた。その方法は自信が持てる話かを伺う。</p> <p>④基礎杭を打つ計画は深さのみのものであるが、その上に建つものによっても相違がある。今、何を何m<sup>2</sup>計画したものか伺う。</p> <p>⑤島根県の合同庁舎も近いうちに建替えの時期が来る。建設部・会議室も併せた新庁舎建設は考えられないか伺う。</p> <p>⑥現提案の用地買収費を含め、総建築費が27億円余りとされている。それプラス基礎、工業用水の処理、土地の嵩上げ、進入路の確保等、30億～30億以上になる可能性を含んでいる。この土地柄を良く知っているのはこの周辺の人であると思う。論議中であるが執行部はこの土地に建設することに固執するのはなぜか、その要因を伺う。</p> <p>⑦場所は良くない。経費は多くかかる。反対者も多い。早急に場所の変更を図られたい。</p> <p>高台では杭打ちも安くて済む所が良いと思うが、転換の考えは無いか伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
5	4	高橋 雅彦 (一問一答)	1. 市民アンケート 調査結果と政策課題について	<p>(1)調査結果をどのように受け止めているか。</p> <p>(2)市が進めている施策と、市民の市に求める施策に違いはなかったか。</p> <p>(3)各項目について</p> <p>①住民自治について</p> <p>1)協働のまちづくりには、この数値をもっと高くする必要はないか。（目標数値も含め）</p> <p>2)市全体のまちづくり活動に参加した回答が非常に低い。その原因と高めるための対策は。</p> <p>3)行政情報を得やすいと感ずる割合が低い。本来目標をもっと高くすべきではないか。</p> <p>4)情報開示について回答が低い。その原因は何か。施策決定プロセスについて問題はないのか。</p> <p>②定住環境について</p> <p>1)生活道路の安全性について、危ない場所が多い。具体的にその対策、計画は。</p> <p>2)公共交通機関の満足度が低い。地域別に具体的対策を講ずる必要はないか。</p> <p>3)災害に対する備えが低い。また地域で大きく異なる。3.11を通じ、災害に対しての具体的取り組み状況は。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 産業振興について	<p>4)福祉ボランティア活動の参加が低い。活動の場や情報提供が少ないのではないか。</p> <p>5)平和教育に対しての参加が少ない。活動が特定の組織や人に集中しているのではないか。</p> <p>6)スポーツや運動について 健康づくりには普段の運動が大切であるが、数値的にまだまだ低い。市民体操など独自のカリキュラム普及をすべきでないか。また、スポーツ環境も低い。</p> <p>③行財政について 1)行政サービスについて。納得しているとやむを得ないで 67%と評価されているが、やむを得ないはある意味で不満との声も含んでいる。組織改革の総合センター縮小案はこの声をさらに大きくする事となるが、質問としての見直しが必要ではないか。</p> <p>④行政サービスに対しての改善要望 1)アンケート抽出の件数が少ない中での判断であるが、市民の関心と行政の重要課題の捉え方にギャップがある。特に情報の共有化、道路網の整備、時代にあった行政サービス、人材の育成・確保に対しての要望が強い。この点について、市はもっと積極的に取り組む必要がある。</p> <p>(1)畜産振興について ①放射性物質セシウムの状況は。 ②BSE、口蹄疫、さらにセシウム問題と、雲南の畜産が危機的状況に</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>ある。市として具体的対策の取り組み状況は。</p> <p>③畜産の崩壊は、地産地消で進めてきたブランド化にも大きな影響があると考える。特に堆肥が問題となるが、その対策は。</p> <p>④安全神話をさらに強固なものにするには、自給体制をもっと積極的に取り組む必要がある。収穫を迎える時期に入り、わら確保対策はどう進められているのか。</p> <p>⑤農家の方々からも、畜産振興に対する多くの思いを聞いている。しかし、残念なことにこうした意見をまとめ、雲南の畜産振興に活かされていない状況を感ずる。JA 雲南の畜産振興再構築構想と、行政、生産者が一体となった畜産振興を含めた農業振興策が必要である。このままでは、加害者、被害者の意識が強くなり、市として関係者の方々との意見調整をはかるために積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>⑥和牛の消費拡大対策を</p> <p>全国の事件を含め、急激に和牛消費が落ちている。市場で出回る肉は検査済で、特に風評克服には市民の方々の協力が必要である。市として、消費拡大のためのキャンペーンなど、取り組みはできないか。</p>	
6	16	堀 江 治 之 (一問一答)	1. 姉妹都市・友好都市交流事業について	<p>(1)合併後の交流事業の実施状況について</p> <p>①合併後の姉妹都市・友好都市交流事業の実施状況について伺う。</p> <p>(2)今後の交流事業の方針について</p> <p>①今後の交流事業の拡大・拡充等の取組み方針について伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>2. 財政非常事態宣言と建設事業について</p> <p>3. 新庁舎建設計画に対する防災対策について</p>	<p>(3)韓国 清道郡との交流事業の成果について ①今年実施された、青少年の交流事業の成果について伺う。</p> <p>(4)韓国 清道郡との今後の交流事業の取組み方針について ①竹島問題を抱えた現状において、清道郡との今後の交流事業の取組み方針について伺う。</p> <p>(1)財政の現状について ①財政の現状について伺う。</p> <p>(2)財政非常事態宣言の解除の条件について ①非常事態宣言の解除の条件について伺う。</p> <p>②非常事態宣言の解除の時期について伺う。</p> <p>(3)建設事業の継続事業の完了後の取組方針について ①継続事業優先に事業が実施されてきたが、継続事業完了後の取組方針について伺う。</p> <p>(1)市政懇談会での説明に対する市民反響について ①様々な意見が出されたと思うが、その概要とそれに伴う方針変更があるのか伺う。</p> <p>(2)地震対策について ①地震対策に対する考え方を伺う。</p> <p>(3)浸水対策について</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>①浸水対策に対する考え方を伺う。 (請川・斐伊川・三刀屋川(三谷川・新田川))</p> <p>(4)液状化対策について ①液状化対策に対する考え方を伺う。</p>	
7	17	光谷由紀子 (一問一答)	1. 主要施策3課題について	<p>(1)本庁舎建設について ①市政懇談会、議会報告会等の市民の声をどう受け止めたのか。 ②場所の変更はないのか。 ③総事業費の変更は。</p> <p>(2)組織見直しと総合センターのあり方について ①木次総合センター存続の判断について。 ②6センターの職員数はどうなるのか。 ③本庁への地区担当配置で災害時の対応はできるのか。 ④住民サービス低下とならないか。</p> <p>(3)医療と保健の融合による健康づくり拠点整備について。 ①市政懇談会、議会報告会等の市民の声をどう受け止めたのか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 雲南市立病院の建設について 3. 島根原発に係る危機管理について 4. 第5期介護保険事業計画について	<p>②既存の施設に指導員を配置し、取り組み強化をまず行うことが重要ではないか。</p> <p>③拠点施設建設は中止し、他の健康推進を強化すべきではないか。</p> <p>(1)建替えスケジュールについて</p> <p>①耐震度調査等はいつ実施するのか。</p> <p>②建替え年度の予定は。</p> <p>③早急な取り組みが求められているが、考えを問う。</p> <p>(1)中国電力(株)への申し入れ事項について</p> <p>①その後の状況は。</p> <p>(2)県知事への重点要望項目について</p> <p>①その内容と見通しについて。</p> <p>(3)ヨウ素剤の配備について</p> <p>①学校、幼稚園、保育園等へのヨウ素剤の配備を求める。</p> <p>(1)計画策定スケジュールについて</p> <p>①現在の状況は。</p> <p>(2)「介護保険法」改定でどう変わるのか。</p> <p>①介護予防、日常生活支援総合事業は市町村まかせとなるが、サービス、料金はどうなるのか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>②介護職員の医療行為をどうみるのか。</p> <p>③新たなサービス抑制となるのではないか。</p> <p>④保険料の更なる引き上げの計画となるのか。</p> <p>⑤保険料の引き下げを求める。</p> <p>⑥入所希望が多い特養等の基盤整備の計画は。</p> <p>⑦県財政安定化基金の活用を求めよ。</p>	
8	1	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 大型プロジェクト事業について	<p>(1)医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業について</p> <p>①2月説明のあった中期財政計画では、平成24年3億円・平成25年4億円で実施したい、そのためには検討委員会で9月には中間報告をまとめ、なるべく早い段階で実施計画が出来るよう進めたいとのことであったが、5月の教育民生常任委員会では市政懇談会・検討委員会・議会の意見を聞く必要があるとのことで実施時期にはこだわらないで平成26年度中に実施したいとのことであったが今現在も同じ考えなのか。</p> <p>②先般市長は現在のB&amp;Gプールは修繕しないと来夏は使用出来ないと言わされたが矛盾を感じるが、当面B&amp;Gプールを修繕し利用していくことなのか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 子育て環境の充実について	<p>③当初の説明では、健康長寿と医療費の削減が主目的で水中運動の出来る温水プールの建設計画を強くアピールされていたが、最近の説明では小学校のプールとしての修繕が必要であるので拠点施設を建設したい説明になり論点が少しすり替わった感があるが確認しておきたい。</p> <p>④プロジェクトチームによる庁舎内ワーキング会議・部会・委員会は何回開催されているのか。</p> <p>⑤市政懇談会の多くの批判的な意見をどのように評価されているのか。</p> <p>⑥無駄な時間・無駄な費用・無駄なエネルギーを考えれば早い段階（当初は9月に中間報告）で方針・方向転換が必要では。</p> <p>(1)子どもの体力向上について</p> <p>①市内の子どもの体力の評価について。</p> <p>②市内の学校芝生化は全市的に広める計画であると思うが進捗状況は。</p> <p>③交流センター化による協働のまちづくりは浸透しているのか。</p> <p>④子育て環境の充実や子どもの体力向上のための遊びや屋外運動への誘導策として大型遊具施設が必要性では。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 加茂地域計画について 4. 経済対策について	<p>(1)加茂町の特徴を生かした町づくりについて</p> <p>①三代地区のぶどう生産技術を生かし、シャインマスカットを普及し奥出雲ぶどう園等との新たな産地形成を図る考えは。</p> <p>②木次町から加茂町への一体的な展開(企業団地も含め)をするため新たな道路整備が必要では。</p> <p>③尾道・松江自動車道の北の玄関口となるスマートインターチェンジ設置の可能性についての調査及び検討される考えは。</p> <p>(1)雲南市ならではの経済効果のある施策について</p> <p>①報道では製造業は幾分持ち直しているとのことだが雲南市内の経済動向をどう評価されているのか。</p> <p>②昨年6月定例会で建築工事はすそ野の広い波及効果が期待できるところから、その需要喚起の実現に向けては市長答弁で「いましばらく時間をかけて検討したい」とのことであったがどう検討されたのか。</p> <p>③新築住宅を積極的に促進する施策が必要では。</p> <p>④雲南市木材利用促進事業並びに住宅建築物耐震改修事業補助金の申込み状況と今現在のその評価は。</p> <p>⑤住宅リフォーム事業の2カ年の実績から来年度に向け、地域内乗数効果や相乗効果を狙った新たな対策が必要では。</p> <p>⑥住宅用太陽光発電導入促進事業補助金の補助率アップが必要では。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
9	19	吉井傳 (一問一答)	1. 地域活性化対策について 2. 農業施策について	<p>(1) 高速道路開通に伴う影響とその対策について</p> <p>①高速道の開通による国道 54 号の交通車両通行量の予測は。</p> <p>②通行量の減少による経済に及ぼす影響額は。</p> <p>③通行量の減少が避けられない中で、高速道から市内への誘導策が最重要課題である。市としての考え方と対策は。</p> <p>④広島－松江間のバス路線ルートが高速道経由となる懸念があるが、現行ルートが廃止された場合の対策は。</p> <p>⑤吉田町・掛合町の人口減少率が市内最大率である要因は、公共交通を含めた生活の不便さも一因と考えられる。主な要因は何か。またその対策は。</p> <p>⑥空き家の件数は、掛合町が市内で一番多いと聞く。人口減少率と比例しているが、更なる対策も重要と考えるが現状と対策は。</p> <p>⑦現在、飯南町・JA・商工会・県等と国道 54 号の通行量に伴う活性化検討会の立ち上げがあると聞くが、雲南市も積極的に参加すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)稲作振興について</p> <p>①東日本大震災や福島原発事故の影響の中で、雲南市米の販売状況、また、米価についての状況はどうか。</p> <p>②JA 雲南肥育センターの堆肥は来年作付けまでに使用できるのか。出</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>来ない場合の影響は。対策が必要となるのではないか。</p> <p>③耕作放棄地の解消が必要とされているが、その対策は。営農組合の充実は耕作の受け皿として重要だが、組合維持が限度の状況だ。共同作業方式の推進が必要と思うが、誘導施策を講ずるべきと考えるがいかがか。</p>	
10	8	土 江 良 治 (一問一答)	<p>1. 再生可能エネルギー小水力発電について</p> <p>2. 「和歌発祥の地」について</p>	<p>(1)CO<sub>2</sub>削減の機運や原発事故を背景に、太陽光、風・水力などの再生可能エネルギーへの関心が高まっている。エネルギーの「地産地消」。発電コストは太陽光が一番高い。原子力は最低。バイオマスは太陽光の1/3に満たない。小水力は1/2弱である。</p> <p>雲南市の周辺部は溪流も多い。森林バイオマスエネルギーの実証事業にあわせ、小水力発電実証事業に取り組むことは出来ないか伺う。</p> <p>(2)これから発生する廃施設利用を考える時、これを取り入れ、中山間地の暮らしを選択できるようなライフスタイルの選択肢をつくる。この魅力に取りつかれた若者の中から、移り住む人々が出てくるのではないかと思うが、その点を伺う。</p> <p>(1)大東町は古事記による「和歌発祥の地」となっている。古事記1,300年にあたり全国版の「和歌発祥の地」にしたいものである。この雲南地域の短歌愛好者が一堂に会した短歌大会も開かれている。かつて大東町では「和歌発祥の地」として、20数年間、全国短歌、俳句大会が開催されたところである。木次町では短歌の同好者が企画した子供たちに教える地道な活動が現在も続けられている。</p> <p>短歌、俳句人口増が必要。今、学校教育現場でどのように取り入れられているのか伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. ふるさと P R の マスコットキャラ クターづくりにつ いて  4. 三刀屋・木次 IC 出入口への永井隆 生誕地看板設置につ いて	<p>(2)全国短歌、俳句大会を再び復活することは出来ないのか伺う。</p> <p>(3)市民団体の取り組みには、物理的（労力的）にも予算的にも限界がある。雲南ブランドを謳うとすれば雲南市が主体的に取り組むべきと思うが、この点も伺う。</p> <p>(1)市長は雲南市全体をブランド化するという。努力はされてはいるが、まだローカルブランドにも達していないものも多い。「幸運なんです、雲南です」ではその地域を容易に連想されない。雲南市統一のマスコットキャラクターをつくることによる、ふるさとのイメージを強力に情報発信できないか伺う。（例）安来市の「あらエッサ君」など。</p> <p>(2)雲南市統一キャラクター図案の制定について伺う。</p> <p>(1)以前一般質問で、中国横断自動車道尾道松江線開通を前にこのことを問うた。副市長の発言は前向きだったが、その後を問う。</p>	
11	10	細田 実 (一問一答)	1. 原子力安全対策 と自然エネルギー の推進	<p>(1)脱原発社会を目指すべきではないか。</p> <p>①福島第一原発の事故は収束せず、放射能の被害は計り知れない。島根でも稲藁による畜産への被害など深刻である。</p> <p>脱原発の社会を目指すべきと思うがどの様に考えるか。</p> <p>(2)島根原発の稼動について</p> <p>①福島原発の収束、検証、周辺自治体の同意が条件と思うがどう考えるか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 行政機構の見直し 3. スポーツの振興	(3)原発防災対策をどう進めているか ①市の原発防災対策の現状を問う。  (4)自然エネルギー活用について ①自然エネルギー活用が世界では大きく前進している。雲南市の今度の取組みを問う。  (1)総合センター機能の見直しについて ①総合センター機能見直し、縮小には市民の不安・不満が大きい。総合センター機能を充実させた行政機能を工夫すべきではないか。  (1)スポーツ基本法制定と雲南市の取組み ①スポーツ基本法が制定された。雲南市は今後どのようにスポーツ振興を行っていくのか。施設改善など環境整備、普及など。	
12	14	村尾晴子 (一問一答)	1. 健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくり	(1)災害（地震等）対策について ①家具転倒防止器具の支給事業は考えられないか。  ②救急医療情報キットの導入は考えられないか。  (2)交通弱者・買い物難民地域の解消支援について ①市で取り組んでいる事業の経過は。  (3)子宮頸がんワクチン予防と小児用肺炎ワクチン助成事業について ①12月末に事業が終了すること。是非継続すべきと考えるが。	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(4)国民健康保険料について</p> <p>①年々上がる保険料に対しての市民の皆様からの苦情・相談についてどの様に受け止めているのか。</p>	
13	8	福島光浩 (一問一答)	1. 庁舎建設、行政組織見直しと協働のまちづくりについて	<p>(1)庁舎建設、行政組織の見直しは、雲南の統治機構の大転換であり協働のまちづくりのあり方に大きな影響を与えると考える。しかし、行政としてのビジョンが全く示されてなく、先の方向転換をみても本格的な検討・議論がされてこなかったと言わざるを得ない。説明責任を果たすべき。</p> <p>①10、20年先の雲南市を見据えた行政運営ビジョンなくしては組織の見直し・再編は血が通ったものとならないが、どういった検討がされてきたのか。またビジョンの開示を求める。</p> <p>②今後の総合センターの仕事、機能について本庁との業務役割分担を含め、事務事業ベースでわかりやすく説明を求める。</p> <p>③総合センターが担うまちづくり支援とは具体的になにか。</p> <p>④32年度以降の定員管理についての見通しはされているのか。</p> <p>⑤6総合センターの維持管理コストの推移と施設の耐久性をどう見積もっているのか。公の施設見直し、財政計画への影響はあるのか。</p> <p>(2)行政組織の見直しに伴い、住民自治組織との関係、役割分担がますます重要になってくる。今一度、整理が必要であると考える。</p> <p>①今回の再編で、自主組織で新たな取組が必要となるのか。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>②組織見直しに伴い、将来的な自主組織の役割・機能についても検討されていると思うが、その内容について伺う。</p> <p>③交流センター構想についても大きな影響があると思うが、人員配置のあり方を含めどのような検討がされているのか。</p> <p>(3)行政サービスを維持していくためにはサービスの内容、あり方、提供の方法を根本的に変える必要がある。人口減少、少子化高齢化がますます進み、また広大な面積を抱える中山間地の雲南では、現地解決型、巡回・駆けつけ型など様々な独自のサービス提供のあり方を考えていかなければならない。</p> <p>①独自のサービス展開について具体的な検討はされているのか。</p> <p>②過疎地だからこそIT技術を利用したサービスの充実が必要である。遠隔会議設備はもちろん、ワンストップサービスの拡充を図るためにも戦略構想が必要だと考えるがいかがか。</p> <p>(4)住民ニーズをもとに、柔軟な発想と英知の結集により雲南らしい自治の形、行政サービスのあり方を創りだしていくなければならない。ビジョンを示したうえで、転換期であるという共通の認識のもとに仕組みを変えていかなければならない。</p> <p>①移行期間であり、人的支援は必要不可欠である。行政OB職員の力をもって災害対応やまちづくり支援を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>②職員の地域枠を越えたセンター配置を戦略的にとていく必要がある。今後の対応について伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2 次世代人財育成と地域づくりについて	<p>(1)地域仕事づくりチャレンジ大賞の中四国予選会に参加し、「地域」×「若者」×「チャレンジ」＝「仕事づくり」というテーマからたくさんのかいづきをもらった。それをもとに、これから雲南における人財育成と関連事業への考え方について伺う。</p> <p>①23・24年度で人の幸を大切にしたブランド化事業を展開する中で、今年度、若者の交流・研鑽の場づくりに取組むとされていたが、経過について伺う。</p> <p>②大学との交流・連携による地域づくりの具体的な内容と戦略を伺う。</p> <p>③自治体、地域、市内企業に長期の実践型インターンシップの受け入れを促進していくべきと考える。受け入れ態勢の構築や受け入れコードィネートができる団体の招致・育成などが必要になるが市としての意向、また考え方を伺う。</p> <p>(2)教育をブランド化事業に盛り込み、小中でキャリア教育を充実させてきたが、他市の施策や全国展開しているキャリア教育、人財育成関連のプロジェクト、また市内高等学校の実践や学生の実態から、これからの人財育成は高等学校との連携が重要だと考える。</p> <p>①認識を伺うと同時に、執行部、教育委員会それぞれにおける高等学校を巻き込んだ施策、今後の方針について伺う。</p> <p>②県内高等学校の再編成基本計画について、現状を伺う。</p> <p>③地域の活力に大きく関係する高等学校のあり方について、あるべき姿をどう描いているのか伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(3)国際的な感覚の醸成無くして、今後の人財育成は成り立たないと考える。</p> <p>①清道郡との交流事業に参加した子ども達から受けた印象を伺う</p> <p>②有利な財源が少ない中で、どの様にして国際交流事業の充実を図っていくのか伺う。</p> <p>(4)子ども議会は人財育成において大きな役割を果たすことができると考える。</p> <p>①導入に向け検討するとされていたが、検討経過について伺う。</p> <p>(5)まちづくり活動・地域活動において若者世代の台頭が待たれており、どの地域も必要としている。</p> <p>①人財育成や交流を促す策として、地域活動若者オブザイナーの開催を提案する。検討中の地域づくり支援制度の中で予算枠を確保。地域振興補助金の活用報告会を発展させ、学生や若者が中心となり行われた地域活動の実践発表などを行い大賞を決定。自主組織推薦方式をとれば、誇れるおらがまち交流会にもなり、ワカモノと地域の関係に新たな光を当てることができると考えるがどうか。何か具体的な取組を考えているのか伺う。</p>	
14	12	山崎正幸 (一問一答)	1. 畜産について	<p>(1)宮城県産汚染稻藁が及ぼす被害と、今後の対応について</p> <p>①JA 雲南が赤来肥育センターに仕入れた、宮城県産稻藁から国の暫定規制値の 10~20 倍を超える放射性セシウムが検出され、市内各分野に多大な不安と被害を及ぼしているが、それに対する所見を伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>②吉田肥育センターに納入された、国の暫定規制値を大幅に下回っている、宮城県産の稲藁の未使用分3.9tが農場内に保管されているが、今後の対策と処理方法について考え方を伺う。</p> <p>③来年度以降の牛の飼料である稲藁の確保についての考え方を伺う。</p> <p>④島根県はJA雲南へ、国の暫定規制値を上回る宮城県産稲藁を与えた赤来肥育センターに対し、家畜・排泄物の移動及び譲渡の禁止、並びに農場内での保管指示が出されたが、国の暫定規制値を下回る吉田・三刀屋肥育センターの家畜排泄物の保管と販売に対する考え方を伺う。</p> <p>⑤市内の多頭畜産農家の家畜排泄物処理に対する考え方について伺う。</p> <p>⑥吉田肥育センターから12件、18.48tの汚染堆肥がすでに販売されており、使用済み、または未使用の農家等への土壌検査や生産物の検査と回収量についての取組状況について伺う。</p> <p>⑦農家や生産者団体は、例年秋からJA雲南の堆肥を田んぼや畑に散布し、良質な米づくり、また、安全で安心な野菜や果樹づくりに精力的に取り組まれるが、国は暫定規制値を下回っている堆肥は使用しても差しつかないと報道しているが、農家等への基準値に対する情報発信が不明確である。 どの施設の堆肥をいつから使用すれば安全かを明確にし、情報発信すべきと考えるが考え方を伺う。</p> <p>⑧雲南1市2町及びJA雲南において、国の暫定規制値を下回った堆</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2. 雲南市行政組織見直しについて	<p>肥センターの堆肥であっても、風評被害により、農畜産物や今後の農業振興に悪影響が懸念されるため雲南地域では販売しない方針が出されたが、雲南地域以外では販売する計画か伺う。</p> <p>⑨風評被害による枝肉価格の下落、また子牛市場価格の下落に対する農家等への補填についての考え方を伺う。</p> <p>⑩風評被害を取り除く方策と、雲南市の恵みである新鮮で安全な食と農について市内外への情報発信と食育の具体的な取組みについての考え方を伺う。</p> <p>(2)和牛振興策について</p> <p>①雲南農業振興協議会で検討された奥出雲和牛振興対策に対する中間報告案が示されたが、現状の課題について伺う。</p> <p>②子牛価格の下落、飼料価格の高騰等により生産者の意欲衰退を招き、高齢化や後継者不足で飼養農家数と頭数が減少していますが、飼料価格高騰に対する対応策についての考え方を伺う。</p> <p>③耕畜連携による循環型農業の推進、及び市内での稲藁確保や自給飼料の確保と生産拡大の観点から、WCS事業を導入する考えは無いか伺う。</p> <p>(1)交流センターのあり方について</p> <p>①市が主体的に関わり設置した、交流センターが発足して1年5ヶ月が経過したがその総括について伺う。</p>	

質問順位	議席番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>②市が目指す交流センターの10年後の将来ビジョンについて伺う。</p> <p>③地域担当職員は担保するとあるが、「担保」の意味と、地域担当職員の雇用について伺う。</p> <p>④総合センターの見直しに併せ、交流センターのやるべき機能の充実の考えについて伺う。</p>	